

ライブ配信セミナー開催のご案内

周術期のアナフィラキシーの
診断・治療と原因検索

2022年 2月25日(金)

18:30~19:45(TBD)

アナフィラキシーは周術期に発生する重篤な病態であり、適切な診断・治療が求められる。アナフィラキシーは皮膚・循環器症状・呼吸器症状を呈するが、周術期には手術手技・鎮静・鎮痛薬の投与、人工呼吸器管理などによりアナフィラキシーの発見や診断が困難なことが多い。症例によっては気道内圧の上昇が診断の手がかりになることもある。本講演では、周術期アナフィラキシーの疫学、診断、治療、原因物質の同定法などについて、2021年に発行された日本麻酔科学会のアナフィラキシーに対する対応プラクティカルガイドラインなどを参考に検討したい。

群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学 助教
堀内 辰男先生



参加費
無料

お申込みは
こちらから

※参加には事前のお申込みが
必要となります。

こちらをクリック

